

〔國花萬葉記山一上〕諸職名匠

茶臼直し 四條通高倉東へ入町

〔江戸總鹿子諸職名匠諸商人〕茶臼直 京橋南四丁目

〔茶道早合點下〕勝手道具類

茶上戸 茶入へ茶を入る上戸なり

釜洗 きりわらなり 長さ四寸ばかり、玄ゆるの毛にて作る、炭も是にて洗○中

茶巾ほし 水屋の天井にかける、流義により用ひず、

炭消 火けしつぼなり

助炭 わり助炭 くさり自在の時用ゆ

爐の上につねに掛置、炭のへらざるためなり、客のときは用ひず、中より分る、を割助炭といふ、引出しあり、ほいろなり、

雪洞 助炭に同じ、風爐にかける助炭なり、

こげぶち 爐壇より爐ぶちへ懸る、客の時は用ひず、○中

水こし そこにきぬをはる事、すいのふのごとし、

茶巾盥 茶巾を洗ふたらいなり、かね又は木にても作る、

大口 片口に似て取手なし、是へ水をこして入置、水屋にあり、

釜居 かまをのせをきて、あらふ道具なり、

〔茶道筌蹄〕水遣之部

水桶 利休形、杉に檜の割蓋、

水壺 和漢宜しき品を假用ゆ

水屋具